



令和3年10月15日

各位

会社名 株式会社 キタック
代表者名 代表取締役社長 中山 正子
(コード番号 4707 東証JASDAQ)
問合せ先 経理部長 米山 正明
(TEL 025-281-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、令和3年5月28日に公表しました令和3年10月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

令和3年10月期通期連結業績予想数値の修正（令和2年10月21日～令和3年10月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,994	242	279	190	33.93
今回修正予想(B)	2,540	13	59	39	6.96
増減額(B-A)	△454	△229	△220	△151	
増減率(%)	△15.2	△94.6	△78.9	△79.5	

2. 修正の理由

(売上高)

当社の主要事業である建設コンサルタント事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響等による顧客からの発注遅れ等により期初から発注量の減少傾向が続き、従来顧客以外へも受注活動を行い受注量の確保に努めましたが、第2四半期までの累計受注高は計画比30.9%減の10億8千4百万円となりました。

なお、第3四半期以降は計画を上回る受注を確保しております。

売上高については例年、前期からの繰越業務高に近い金額を当期第2四半期までに売上計上する傾向があり、当期も第2四半期までの売上は前期からの繰越業務高をやや上回り、計画比1.8%減の17億6千万円となりました。

しかしながら、第3四半期以降の売上については、前述の第2四半期までの累計受注高の低迷による影響で3億円減となり、また、工期前倒し等により売上高の確保に努めたものの、10月に入り、主力の調査・設計業務が増額変更等に伴う工期延長によりさらに1億円減となる見込です。

その結果、通期での売上高は当初予想の29億9千4百万円から4億5千4百万円減少の25億4千万円の見込となります。

(営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益)

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、売上高の減少により、各利益ともそれぞれ減少し営業利益 1 千 3 百万円、経常利益 5 千 9 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 3 千 9 百万円の見込であります。

なお、1 株当たり年間 5 円の配当見通しについては変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上